

鱒淵ダム～七重の滝コース登山口～山瀬～豊前越～からす落～

福智山山頂～福智平～ホッテ谷分れ～福智山登山口～鱒淵ダム

七重の滝を経て 福智山

2020年3月8日

今年初めての登山は、福智山。なんと、7ヶ月振りの山行きである。「体調でも悪いのか？」等と、知人から心配してもらう声が時々届いていたが、多少の諸事情はあるにしろ、単なるサボリ癖が長引いたのと、登山靴をマラソンシューズに履き替えていたことが原因である。

これからは以前のように山に向き合いたいと思う今日この頃だが、さてどうなるか？(笑)



杉の植林帯の下で、ミツマタが満開！

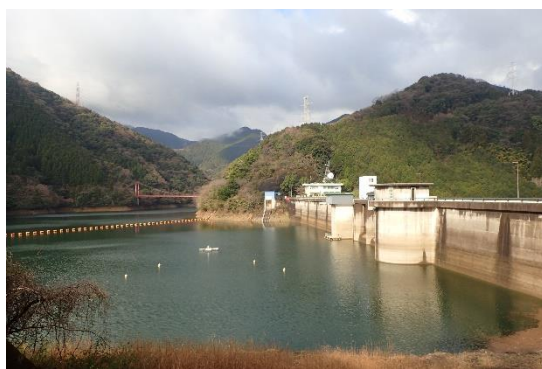
<コース概要>

1、鱒淵ダム 9時18分 ～ 2、福智山登山口(七重の滝コース) ～ 3、七重の滝(一の滝～女滝～七の滝) ～ 4、山瀬 ～ 5、豊前越 ～ 6、からす落 ～ 7、たぬき水 ～ 8、荒宿荘 ～ 9、福智山山頂 ～ 10、福智平 ～ 11、大杉渡り ～ 12、1.8のコル ～ 13、ホッテ谷別れ～ 14、福智山登山口(九州自然歩道) ～ 15、鱒淵ダム 16時15分



1、鱒淵ダムをスタート 9時18分

到着すると、車が意外に多く、路肩は先着車で埋まっていた。なんとか最後尾に駐車して準備に取り掛かる。完全に出遅れた。朝まで降っていた雨は止み、今は曇り空。時折雲間から陽が差して、これからの状況が好転するような気配。7ヶ月振りの山行きとあって、ウキウキしながら登山靴を履いた。



鱒淵ダムを一望 9時19分

湖面は少し風が吹いて、さざ波が立っている。でもその風がとても気持ちいい。



堰堤を歩く



九州自然歩道だと山頂まで5.2km



ゲートを越え、遊歩道へ 9時23分



まず洩橋を渡らずに直進 9時25分



遊歩道が続く 9時28分

ウォーミングアップを兼ねて、登山口までゆっくり歩いて行く。



鈴ヶ岩屋と福智山の山頂部は残念ながら雲の中 9時31分 気が重いなあ～

ここは、鱒淵ダムから福智山山頂を望むことのできる唯一の場所



梅の花はもう終期 9時38分

2年前、この時期は梅の花が満開で、辺り一面香りが漂っていたが、今年は遅かった！



器量よしの梅



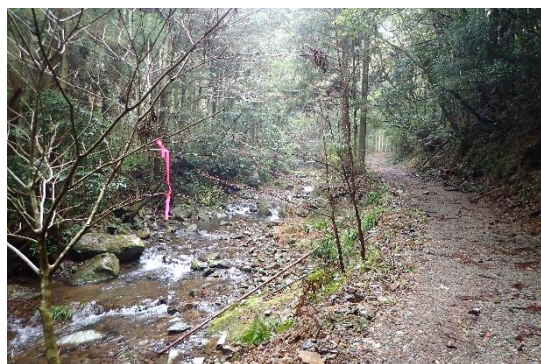
2、七重の滝コース登山口 9時50分

スタートして、遊歩道をのんびり歩くこと32分。広いスペースの奥に登山口がある。



道標確認

ここから川沿いを歩いて行く



川の流れて歩いて行くと・・・



古びた橋に差し掛かった 9時59分



昭和39年に施工 ・ なんと55年前



七重の滝入口橋 文字が薄くて読めない

「レクリエーションの森」？ いつの間にか命名されているようだ



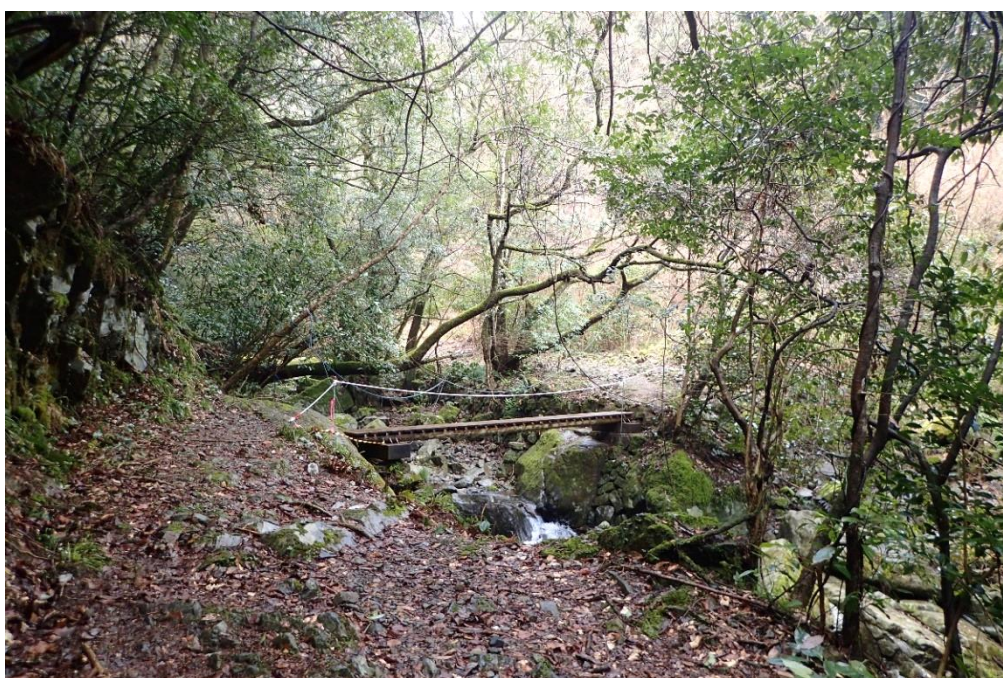
この「七重(ななえ)の滝」とは、溪流に沿った登山道の途中で次々と出現する大小7つの滝群の総称です。最大の「大滝:七の滝」は落差約15メートルあります。筑豊の名峰と言われる「福智山」、その登山道の一つとなっていて、多くの登山者が好む「七重の滝」ルートです。(説明板より抜粋)



自己主張の強い アオキの赤い実



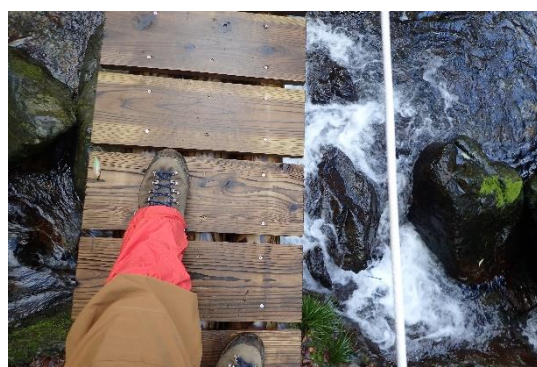
ひっそり咲く サツマイナモリ



「あっ、川に橋が架かっている！」 以前はロープを頼りに渡渉していたのでラッキー！ 10時09分



横幅は50センチ位かな？



結局、ロープを握って慎重に(笑)

この木製の橋を渡って左に進むと、前方に赤い鉄製の橋が見えてくる

3、七重の滝(一の滝～女滝～七の滝)



滝見橋を渡る 10時12分

ルートが整備され、この橋も綺麗に塗り替えられて、色鮮やかになっていた。



いよいよ本番

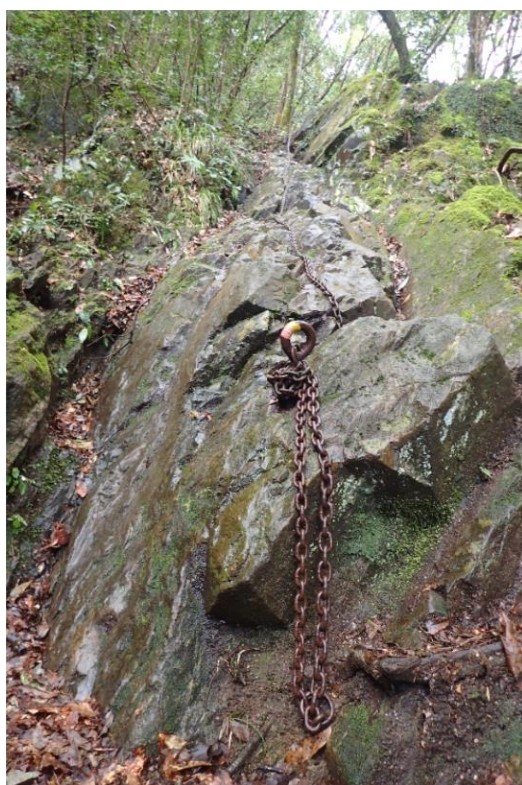


一の滝 10時13分



二の滝まで約70m

二の滝に行く前に岩壁が立ちはだかる！(迂回路もあるので大丈夫！)



「一の滝」の標識から5m先から岩登り！



15m程ある岩壁、鎖を手によじ登る！今日は雨で濡れて、滑って危ない！



二ノ滝 10時16分

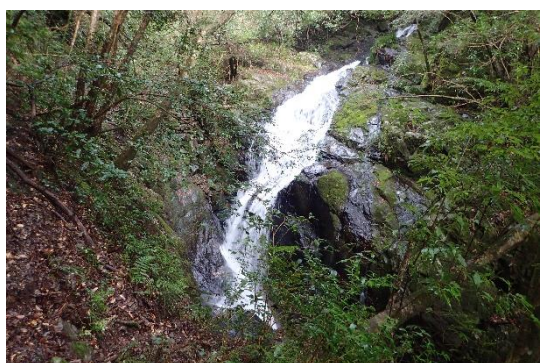


三の滝まで約70m

「二の滝」と「三の滝」の途中に「女滝(めだき)」が現れる。七重の滝とは別の支流である。



女滝 10時23分 広い岩肌を流れるとても穏やかな滑滝で、私のお気に入り。



三の滝 10時27分



四の滝まで約40m

次々と滝が現れてくる。今日は水量も多く、ダイナミックな滝になっている。



四の滝 10時31分



五の滝まで約100m



二つ目の鎖場に挑む 10時32分

岩が滑る！ここは本当に「レクリエーションの森」なのか？とてもそうとは思えない。緊張の連続で「スリリングな森」ではないか！



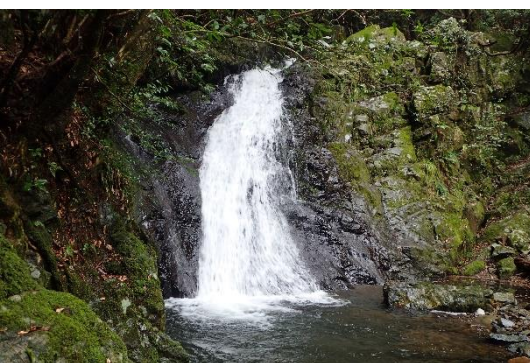
豆蔲がビッシリと！



五の滝 10時31分



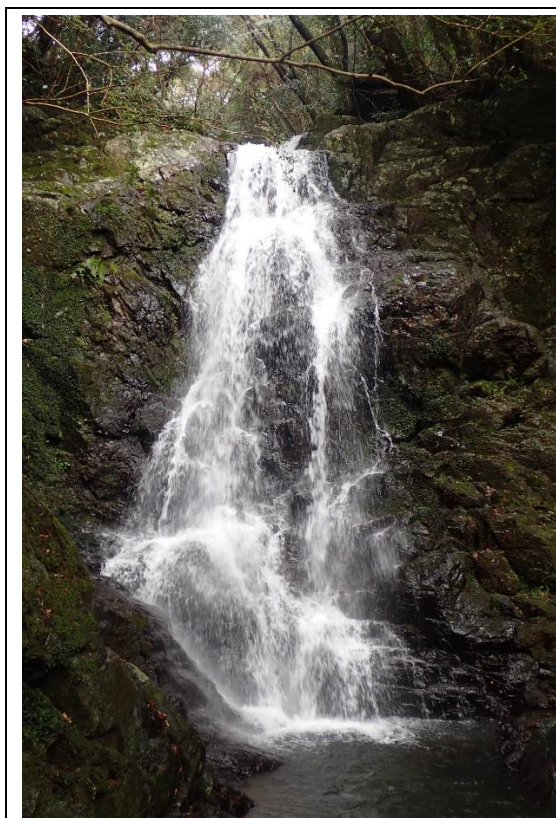
六の滝まで約50m



六の滝 10時45分



七の滝まで約40m



七の滝 10時48分



山瀬まで約600m

これで七重の滝が終了！ 滝の轟音の中、結構緊張しながら滝巡り。最後の「七の滝」は一際大きく、高さ15メートルから流れ落ちる様子は圧巻です。

スタートしてここまで約1時間30分が経過。既に足がガクガクして、情けない。しかし、この先は少し平坦な道が続くので、歩きながら足休めができる。ホッとしながら進む。



広い河原に飛び出した！ 10時55分 登山道はこの川の対岸に続いている

水量は多い。さて、どこから渡渉したものか？ 渡れそうで渡れない(笑)

右往左往した結果、一番奥の方で渡渉決行！ 見事成功！

渡渉しても、「アレっ？ここからどう行くの？」と、初めてここを歩く人は、ちょっと迷うかもしれない。渡渉後に黄色のマーカーのある岩の横をすり抜け、「ご注意」の張り紙を見つけたら、その更に10m程上の方に登山道がある。落ち葉が降り積もり、道らしき跡はないので戸惑うが、目を凝らしてよく見ると上の方に道標が立っているのが分かる。



岩に記された黄色のマーカーが目印！



「ご注意」の張り紙も目印になる。



登山道と道標



これを見つけると安心

この登山道は左に進むと「福智山・尺岳」だが、実は反対側の右側にもコースは続いている。その行先は、本日9時59分の時点で渡った七重の滝入口橋付近に通じることになる。要するに七重の滝全体の迂回路となっている。細くて1本道なので、迷うことはないと思うが、時々崖の横をすり抜ける箇所があって、注意しないと危ない。そこだけは要注意！



道標より左側の登山道(本日の進行方向)



道標より右側の登山道(七重の滝迂回路)

登山道を進むとすぐに川に差し掛かる。しかし、この橋は10年前までは渡れたが、その後崩落して未だに新しい橋は架かっていない。仕方ないので、左側の浅瀬を渡渉することに・・・。



橋が崩落して渡れない 11時03分



左側の浅瀬を慎重に渡る 11時04分



不思議空間 11時06分 静まり返った森を歩く

「昭和30年頃まではこの辺りで炭焼きが盛んに行われていたらしい。」と、以前H師匠から教えてもらったことを思い出した。のんびりとした穏やかなこの雰囲気は、先ほどまでの滝の様相と真逆で、静寂で癒しの空間となっている。



苔むした岩に、ヤブツバキの花が落ちていた

橋の崩落が続く



左は✕。川の対岸に登山道が続いている

また橋がない！ 11時10分

何も考えずに歩いていたら左の竹やぶへ入ってしまった。アレっと思い、周囲を見ると登山道を外れていた。本来なら登山道は右側なのだが、橋が崩落している！慌てて引き返して川の浅瀬を渡り、対岸に続く登山道へと進路修正。「ボーっと歩いていると道迷いの原因です。」と、これもまたH師匠の言葉を思い出す(笑) 気を付けます。



4、山瀬 分岐全景 11時12分 右に進めばクジラ岩を経て尺岳へ通じる



道標を見ると、左は福智山方面。右は尺岳平方面とある。上の写真をご覧の通り、とうとう尺岳方面の橋も崩落していた。このコース、ことごとく橋が架かっていない。これじゃ、このコースを初めて歩く人や初心者は苦勞するだろう。出来れば「七重の滝コース」全体を再整備して欲しいと願う。水分補給後、福智山方面の左へ進む。



植林帯をのんびり歩く 11時13分



朽ちた橋。右に迂回 11時21分



ガレ場の前に栄養補給 11時28分
トマトのドライフルーツ。甘くてとても旨かった。元気をつけてガレ場に挑む。



豊前越までの辛いガレ場 11時33分
ところどころに黄色のマーカーがある。
コースはガレ場を外さないように上ると大丈夫。ペースを保って上る。



コース上に大きな倒木 11時44分
倒木のため、一瞬道が分からなくなってしまう、キョロキョロ。この倒木は通り過ぎて、後ろを振り返って撮った写真です。
あと少しで、豊前越の尾根に出るぞー。



5、豊前越 11時47分

やっと福智山系のメインの尾根に辿り着いた。これまでは単独行の女性一人(慣れた足取りで、軽快に下山していた)とすれ違っただけだった。「これからは登山者を多く見かけるようになるだろう。」と思っていた矢先に、団体さんとお会うことになった。やはり人気の福智山系だ！



福智山方面へ 11時48分

ここでは休憩なしで福智山へ向かう。



GO！



6、からす落 12時17分

楽勝の尾根を約30分弱でゆっくり歩き、からす落到着。とその時、上空にヘリが！



山頂迄700m



ヘリコプターの音が鳴り響く 12時17分

救助ヘリかと思いきや、荷物をぶら下げています。山頂に何か運んでいるのかな？と、思っていたら違った。



出発して3時間経過



7、たぬき水 12時24分

いつものように道標から「たぬき水」へと進み、顔を洗っていたら、またヘリの音。



冷たくて最高！

今度はヘリの音がとても近くになって、荒宿荘の方を見るとヘリが荷物を下ろしていた。



8、荒宿荘 10人程の作業員が、ヘリから降ろした荷物を運んでいた。 12時26分

後から分かったが荒宿荘の裏側にある、バイオトイレの改修工事とのことだった。



山頂への分岐(どちらでも OK) 12時30分

ヘリコプターの荷物運搬を見たあと山頂へ。上るとすぐに分岐と出会う。



今回は右へ

	分岐を左に上る 12時33分 先程の分岐から歩いて約3分、山頂に続く分岐がある。今日はここから山頂アタック！  山頂が見えた！
	上るに連れ八丁が見えてくる 12時36分 どうやら視界は良好。気持ちいい。クマザサが風に揺れてカサカサと音を立てる。  お久しぶり
	筑前黒田藩・福智社(鳥野神社)の祠 12時40分 二礼二拍手一礼で登頂お礼参拝。  健康祈願
	9、福智山山頂 12時42分 901m 山頂はたくさんの登山者で賑わっていた。風も程よく吹いて過ごしやすい。  気温は9℃

山頂碑に荒宿荘バイオトイレの改修工事の予告が貼ってあった。

山頂碑にタッチしてもう一つの祠へと向かう。

今回歩いた山頂付近のルートを実線で記しています。





クマザサがまだ冬仕様で、茶一色の風景になっている 12時43分



豊前小笠原藩・福智神社の祠 12時45分

「誰かいるかな～」と四畳半岩に向かったが、顔見知りにも合わず、昼食にした。



安産祈願



四畳半岩の裏側で昼食 12時52分

カップ麺とおにぎりが最高に旨い！



満腹

いつものように、平尾台の貴山を見ながら昼食にした。野焼きはもう終わったみたいだ。



下山開始 13時25分

豊前小笠原藩・福智神社の祠の前にあるルートより下山。



ここから下る



右手に南面小屋が見えた 13時30分

誰もいない。綺麗に整備されているが、ここは一般の登山者が休憩利用できるのか？



桜の根元に水場



綺麗に整備された南面小屋横の広場 13時32分 福智神社の鳥居がある

下山コースは、ここから鳥居を潜り、山頂を中心にして左回りで、今下ってきた反対方向へ回り込む。そして、福智平へと向かうことにする。福智平からは九州自然歩道で鱒淵ダムへ！

	鳥居を潜り直進 13時33分  細いT字路に出会うが左に進む(左回り)。
	十字分岐に出会う 13時36分 直進 ここから左は福智山山頂。右は焼立山(旧赤牟田の辻)方面となる。 福智平は直進！ どちらを向いても似たような風景なので分からなくなる。 遠くの山を見ながら方向を確認しよう。
 十字分岐から左側:見上げると福智山山頂	 十字分岐から右側:左奥に焼立山
	二つ目の十字分岐 13時38分 右へ ここは右に進んで福智平へ。左は福智山山頂へ、直進すると荒宿荘へと続く。  貫山が見える

	10、福智平 13時43分 福智平では、今は何も咲いていないが、春・夏・秋と多くの花が咲く。待ち遠しい。  鱒淵迄 4.8km
	鈴ヶ岩屋への分岐 13時45分 ここから右に約6分進むと、鈴ヶ岩屋に通じる。5月になるとヤマツツジが咲くのでこれもまた待ち遠しい。今回はパスして通過！  H師匠作
	11、大杉渡し 14時08分 福智平から歩くこと25分。大杉渡しに到着。やはり7ヶ月振りの山歩きなので、両膝が悲鳴を上げている。ゆっくりペースで下る。  小さなプレート



ヤブツバキがいろんな所に落ちている



12、1. 8(イチハチ)の科尔 14時24分

ここのベンチに腰を下ろして小休憩。ここは福智山と登山口の中間地点。水分補給。



鱒淵迄 3.4km



13、ホツテ谷別れ 14時50分

1. 8の科尔からガレ場などを経て、ようやくホツテ谷分かれまで下ってきた。ここまでくれば先が見えるので元気が出てくる。



登山道に白いスミレ



強羅橋を渡る 14時55分

橋の周辺は木々で光が遮られて暗い。滝の音は轟き、ちょっと緊張しながら渡る。



水量多し



崩壊地を通過 14時59分

大雨による被害が深刻。この場所もいつまで現状維持できるのか？



道幅は約1m

そして・・・「そろそろかな～」と、お目当ての花に出会えるのを期待して歩く！

本日のお目当てであるミツマタの群生地に着！ 15時02分
今が盛りと、たくさん咲いていた！



下向きに咲くミツマタ



枝が三つに分かれることが名前の由来



樹皮は和紙の原料となる



小さな花が沢山密集している



杉林とミツマタのコラボ

しばらくの間、写真撮影を楽しんだ。

登山道に戻り、足下にひっそり咲くサツマイナモリを見たりしながら、ゆっくり下った。



サツマイナモリ



イチゴの実



車両侵入禁止の杭 15時35分

林道に出会い、ここで登山道が終了。花々を撮影していて時間が遅くなってしまった。



直方営林署管轄



14、福智山登山口(九州自然歩道) 15時41分

取り敢えずいつもの場所で記念撮影。その後、登山口へのんびり歩く。



フラフラ



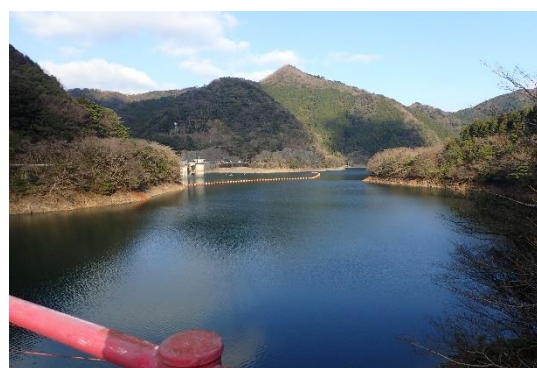
夕方近く、影も伸びてきた 15時51分



存在感のある大きな木



赤いすし橋を渡る 16時04分



ゲートを越えて 16時10分



堰堤を歩き 16時13分



陽が傾いてきた鱒淵ダム 16時14分

15、鱒淵ダム 16時15分 ゴール

本日の山歩き所要時間は約7時間。スマホの歩数計は23797歩。7ヶ月振りの登山はあっという間の楽しい時間でした。



お疲れ様でした。